

4月9日、生徒会による対面式、部活動紹介が行われた。入場時は緊張した様子の新入生も学年、教員の紹介、部活動紹介と進むにつれて和んでいくようだった。新入生代表として赤坂一輝くん（1・2、野球部）が挨拶した。アットホームな雰囲気の中、各部活動の趣向を凝らしたパフォーマンス、スピーチが展開された。



吹奏楽部 16名の新入部員を迎え、パワーアップした演奏を披露している。「かわいいだけじゃだめですか？」の演奏では5名が1年生担任と水澤先生のお面をつけて楽しいダンスで魅了した。

弓道部 部長の齋藤優太くん（3-3）が颯爽と射貫きを披露した。既に1年生4名が入部している。個人だけでなく団体でも全道大会進出を狙っている。



バレーボール部 5名の新入部員を迎えたが、「マネージャーやアナリストもほしい」とのこと。今年も「全道ベスト8以上」を目指し、活躍が期待される。



バスケットボール部 新入部員は2名。2・3年生は7名なので部員を大募集中。全道常連チームだ。



美術部 個性溢れる作品を披露した。部員募集中。



バドミントン部 新入部員は6名。個人、団体で全道進出を狙う。シャトルケースをスマッシュ。

ほかに華道、書道、写真、新聞の紹介があった。スキー部は8名の新入生を迎えた。各地転戦している選手もいるため、紹介は省略された。茶道、アニメ、仏教研究会などもある。関心のある部活動があれば、積極的に見学してほしい。



要約問題は類義語で対策
英単語は通学時間の約3時間『パス単準1級』を徹底して覚えた。ライティング対策も万全を期した。2年の秋に一度落ちたことで弱点も分析した。「類義語を覚えて、要約問題で使えるようにした。これは新しい傾向

1年生の冬に英検2級に合格してから、準1級合格目指して準備してきたという三田彩葉さん（3年1組、左写真）。2年生の冬に見事合格した。どんな勉強をしてきたのか、鍵は英単語とライティングだった。

三田彩葉さん 英検準1級合格 通学時間に単語覚えた

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年4月15日
第2号

向の問題なので、まだ参考書も出ていないが、YouTubeには参考になる情報があり、利用した」という。

「リーディングは授業のC英語Ⅱで山内先生が模試の過去問を出してくれ、段々解けるようになってきて、読解力の手応えは感じられるようになった。」

「リスニングは苦手だったが、何回も聞いて、練習した」という。

「英検2級と準1級の差は大きく、心が折れそうになるけれど、諦めずに頑張れば、道は拓ける。私は英単語を覚え、ライティング対策をすることで、1次試験を突破できた。2次試験は指導してくれる先生方に頼ってほしい」と語る。

大学に進学して長期留学を目指すという三田さん。英語をコミュニケーションの道具として身に付ける覚悟だ。